



ぎょうせい はりま

No.31
1993. 11.



東はりま日時計の丘公園

—行政書士制度を強化しよう—

支部長 三村 良三

今年は、皇太子様雅子様のご成婚という慶事があったものの、北海道南西沖地震、鹿児島島の豪雨被害、雲仙普賢岳の火砕流等の被害、大阪ニュートラムの思わぬ事故、ゼネコン汚職、底這いを続ける経済不況、米の不作、ロシアでの流血事件など、まさに悪世の様相を呈しているように思われ、明日が見えない状況です。

また、長年続いた自民党政権に代わり、細川連立政権が誕生しましたが、なお、政権の再編は予断を許さない

情勢です。行政書士制度についても論議されていることを漏れ聞きました。行政改革が強く叫ばれているなかで、行政書士制度の存在意義が評価されるためには、社会的に高い貢献をし、政治的にも強い発言力を持たなければならぬと、改めて感じます。政治連盟の強化や、資質向上を図ることは勿論、先輩がなされてきたように、個々の行政書士が自己の適性に応じ社会のニーズに合った奉仕活動、社会活動に取組み、社会のリーダーとして活躍することも望まれます。多忙な今日、でき難いことではありますが、お互いに頑張りたいものです。

行政書士は、まちの身近な相談相手

法の日行政相談所開設

10月1日は「法の日」。この日にちなみ兵庫県行政書士会東播支部と兵庫県土地家屋調査士会東播支部との共催で無料相談所を、10月2日午前10時30分から午後4時

まで西脇のダイエーハイパーマートで開設しました。農地、土地開発、相続の問題等色々の相談に応じました。



第1回土地開発分科会実施報告

日時 平成5年7月21日(水) 午後1時30分より
場所 西脇市民会館 第一会議室
講師 兵庫県社農林事務所農政課 塚本課長補佐

この度は、土地開発分科会で、農地法の事務取扱について研修を行うことに決め、実際に農地法の許可申請の審査の実務を担当されている社農林事務所の塚本課長補佐を招き、農地法関係許可申請業務について研修を行いました。

研修内容については、農地法の運用と3条の許可基準及び4条、5条の転用許可基準の説明をして頂き、それに伴う申請に関する添付書類と留意点について、具体的な実例をあげながら詳しく教えて頂きました。

また、日頃から申請手続に苦慮している農家証明の発行の取扱いや、資金証明の記載、隣接同意等の12項目の質疑応答があり、参加者から数多くの発言がなされ有意義な研修会でありました。

参加者から、この研修会は良かった、と帰路につかれた言葉を励みにしていきたいと思えます。

また、次回は開発許可と他法令の関係についてをテーマといたしまして、11月下旬頃に開きたいと考えておりますので、多数の参加をお待ちしております。

土地開発分科会

武川 長久
坂上 良祐



このたび

加古川支社加西事務所を
開設致しました!

サービスの充実につとめますので
よろしくお願い申し上げます。

KOa
FIRE & MARINE
INSURANCE

興亜火災海上保険株式会社
西兵庫支店 加古川支社 加西事務所
TEL.0790-43-1877

— 世紀末的退廃不況を吹っ飛ばせ —

西村 勝彦

私は先に“平成不況に想う”（行政ひょうご4月号H5.2.20稿）において、今回の平成不況は今年の年央から秋口にかけて回復にむかうと説いた。各紙（特に日経）ともにこれを容認する記事が続いたし、6月には経済企画庁が景気の底入れ宣言を行ったので自分の主張にこれは当たったと思った。しかし現実の不況は「底入れの横ばい」が続いている。特に大企業の業績が想像を絶する程悪い。経常赤字企業が続出しかねない。それに人員削減の嵐が吹き荒れている。大げさに言えば、まさにパニック寸前である。いまにも雇用不安か倒産警愕症になりそうである。

私が読みを誤った原因の一つは急激な円高である。不況でますます貿易黒字が増加したし、円高による差益還元はがんじがらめの規制で遅々として進まない。進んでいるとしても素材輸入—加工—流通の段階で雲散霧消。このごろになってやっと電気代とガス代が下る始末である。これに不況が追い打ちをかけ、輸入促進も進まないから対米黒字も減少しない。

次に第7次公定歩合引き下げがようやく実現したが、これとて不況克服の特効薬の効果はない。設備投資や住宅投資だけを拡大してみたところで、個人消費が冷えきっている以上、これだけではどうしようもない。

それでは減税はどうかと言うとこれもなかなか困難で

ある。5兆円をこえる税収不足が懸念される現状で、財源をどうするのか。赤字国債も建設国債もダメ、消費税の税率引き上げも容易なことでない。

要するに当分何をしてもダメなのである。じっと我慢をしてバブル後遺症が治まるのを待つばかりである。それに日本だけ良くなる訳もない。この不況下でも先進諸国の中では日本は世界で二番目に景気の良い国である。

しかし、景気回復に期待がないわけではない。それはGNPの約60%を占める個人消費をふるいたたせることである。しっかりした実需を伴った低価格帯商品市場の掘り起こしを個人消費の増加へと繋げる努力が景気回復のキーワードとなる。

やや無責任に言うならば、景気はこんな状態がそれなりに続く。頼みの綱は個人消費の回復なのである。「君は金持ちだから、この際こそ、家を建てたらいい。わしは自動車を買った。金持ちが金を使わなかったら、貧乏人は何もできん。死ぬよりしょうがない。そんなことはできないじゃないか。君は金のあるだけ物を買え。一松下幸之助不況語録」を素直に理解できる状況ではないが、こうならなければ景気は回復しないのである。

呵呵大笑でこの世紀末的退廃不況の憂うつを吹っ飛ばす度量と実力が要求されているのである。

（平成5年9月28日）



○今ならエアコン3台サービスします(11月30日まで)

※1階は約1坪内の完成予想図です。実際とは多少異なる場合があります。



殖産住宅

建て替え推奨プラン

本格木造住宅「^{よろこび}歓」 3.3㎡当り**38.1**万円より

「歓」はシンプル・イズ・ベストを基本に20のプランを厳選した新しい時代の木造住宅です。十分な収納スペースと独自のラージウッド工法による高い安全性と耐久性を実現。

お問い合わせは 殖産住宅 姫路支店 企画開発課

☎0792-22-4425

おめでとうございます

兵庫県行政書士会主催の第3回親睦旅行が去る9月12日、13日の2日間、有馬温泉で実施され、例年のように東播支部からも参加して楽しい一時を過ごし交流も深めました。そのなかの囲碁大会で大村彰会員、将棋大会では中村敬吾会員がそれぞれ優勝され賞状及び賞品を勝ちとられました。



あの町この村 〈黒田庄町〉

東経135度子午線のとおり町に オートキャンプ場がオープン

東はりまの山なみに抱かれた豊かな自然の中で、オートキャンプをはじめ様々なアウトドア活動の拠点施設として「子午線2時」をテーマにした東はりま日時計の丘公園が6月21日オープンした。

「東はりま日時計の丘公園」と名付けられたこの施設は、黒田庄和牛で有名な多可郡黒田庄町にあり、名の通り園内のあちこちに日時計が置かれ、身近に時間を感じることができる。

ロッジ（自炊可能な2DK）レストラン（石焼で黒田庄ビーフ）多目的広場やバーベキューサイトも整い、レンタル用品（キャンプ用品、遊具）も完備されている。

オートキャンプ場は1サイト100㎡（スタンダード33サイト）と広く、AC電源、芝生のテントサイト、水道も完備されている。

ほかにキャンピングカーの専用サイトが2サイトある



「川柳」

題「囲碁」（田舎のへボ碁）

- なにはさて 久しぶりだと 碁盤出す
- なにを言う 今日も勝ちだと 高い鼻
- 玉の汗 勝負どころで 知恵が出ぬ
- おいお前 義理ある俺の 石を取る
- 東の間の 白番とられ 又黒か
- つれないが ここで勝たせば つきあがる
- 勝つまでは 帰えらぬ友に 妻はつ
- 例の手で 柳の下に どじょういぬ
- よそ見する 余裕ができて 軸をほめ
- 根こそぎは 止めてくれよと 頼みこみ

（王子加寿美）



コインランドリーやシャワー施設、炊事棟も作られ、長期滞在も可能です。子供は日時計の広場で遊び、夫婦でのんびり自然の中で語らいの時を持つのもいいですね。

東はりま日時計の丘公園職員一同

編集後記

何十年後かに、日本の歴史を振りかえってみた時、平成5年という年は、おそらく日本の歴史を大きく画する年になるでしょう。不況で始まり不況で終わろうとしています。来年に希望をもたせる一条の光明のようなグッドニュースがほしいものです。

たくさんの方の原稿を頂戴し有難うございました。次回も投稿下さるよう宜しくお願い申し上げます。（吉田 稔）

ぎょうせい はりま No.31

発行日 平成5年11月5日発行
 発行人 三村良三
 発行者 兵庫県行政書士会 東播支部
 〒677 西脇市高田井町35-1
 三村良三事務所内
 TEL 0795-23-4522